

福島県内における日赤救護班の展開状況(2011.3.11~3.14)

東日本大震災発生直後から、各地の赤十字病院から救護班(DMAT※を含む)が福島県に向けて出動し、県内各地に展開して救護活動を開始しました。しかし、3月12日に福島第一原発の1号機で水素爆発が発生すると、救護班要員の安全の確認ができないことから内陸部や宮城県へ移動し、3月13日には二本松市でスクリーニングを受けて福島県支部へ戻らざるを得ませんでした。

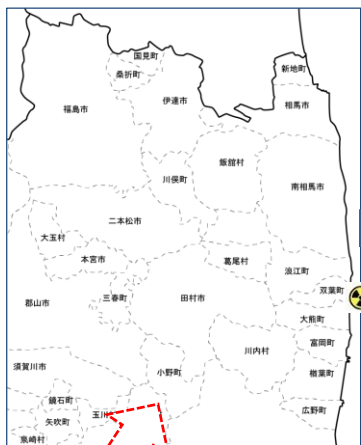
同日行われた福島県支部災害対策本部における会議の結果、各救護班は派遣元の施設(赤十字病院など)の判断に従うことになり、結果として福島県外からの救護班は一時的に県外に移動することになりました。

(※)DMATとはDisaster Medical Assistance Teamの略。

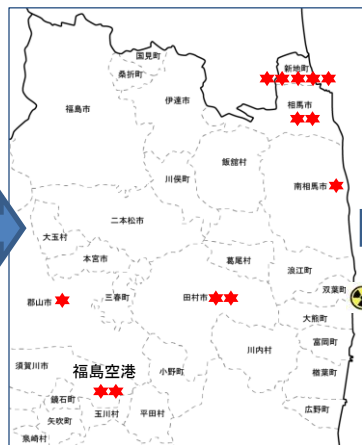


放射線下での活動を検討する災対本部と救護班(3月13日夜の福島県支部)

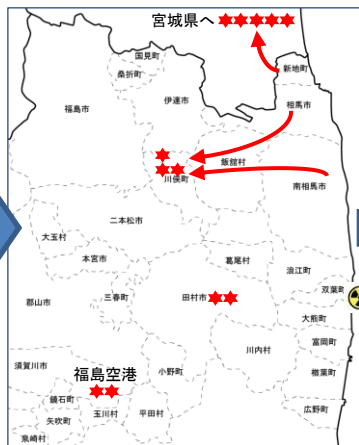
2011年3月11日
福島県に向けて出動



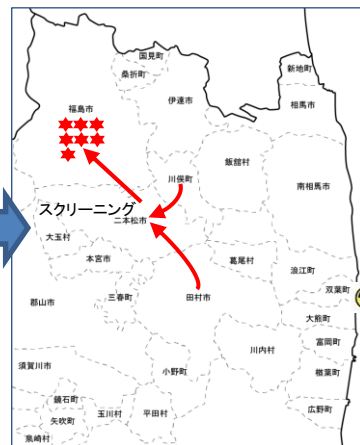
2011年3月12日
日中



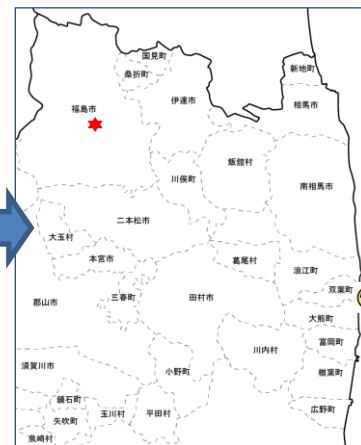
2011年3月12日
夜間



2011年3月13日
夕方



2011年3月14日
日中



各地の赤十字病院から8つのDMATが福島県に向けて出動。

新地町、相馬市などで救護活動を開始した。

相馬市、南相馬市の救護班は川俣町に移動。新地町の救護班は、宮城県白石市に移動。

二本松市でスクリーニングを受け、その後福島県支部へ戻る。

福島県外からの救護班が一時的にいなくなり、福島赤十字病院のみが活動。



- ★ 日赤救護班/DMAT
- ☢ 福島第一原発